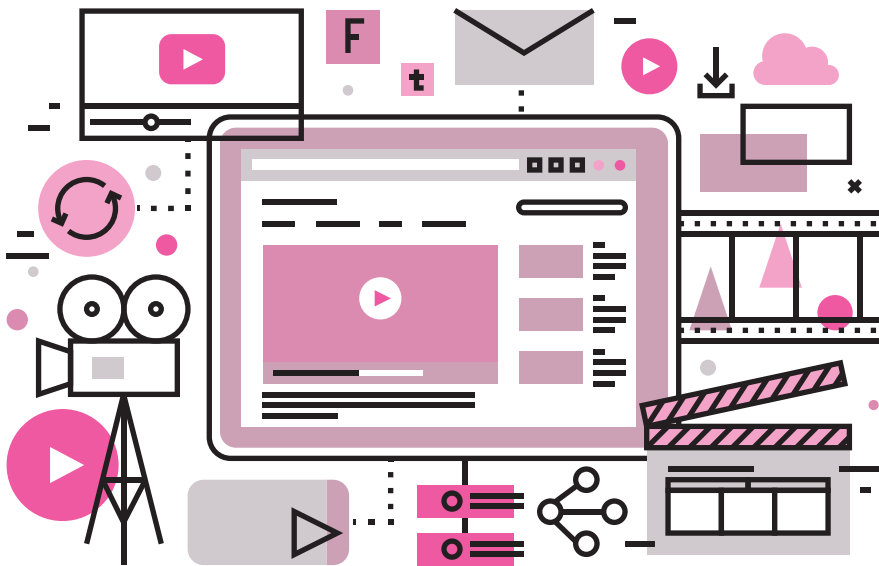


仕事に役立つ 動画活用

ガイド

Vol. 1 準備編



はじめに

料理のレシピを調べたいとき、本ではなくYouTubeやSNSの動画を見て確認したりしませんか。

ソファに座ってくつろぎながらお気に入りのYouTubeチャンネルの新作動画を見たり、旅先の風景を動画で撮影してInstagramで共有したり、今や動画は、私たちの生活の一部になっています。動画のなかった時代を思い出すのも難しいほどです。

そこまで浸透した「動画」は、見るのも楽しいですが、実は動画を作ることは、もっともっと楽しいものなのです。楽器を美しく奏できるように、外国語を流暢に話すように、動画も作るほどに楽しく、自分の可能性を広げてくれるものになるでしょう。

このテキストを手にとられたということは、動画づくりに興味がある、あるいは仕事などで動画を作るという場面にあるのではないのでしょうか。

楽器や語学と同じように、動画制作にも基本があります。お手本を頼りに技術を習得し、表現方法を獲得していく工程が必要です。

このテキストは、できる限り実践的に体系立ててあなたが動画制作の基本を学べることを目指しました。また、自分の表現手段として活用できるように、動画制作を習得するための道筋を考えて構成されています。ぜひ楽しんで取り組んでみてください。

テキスト1では、動画制作の基本である「お手本事例から学ぶ」機会をたくさん用意しました。世の中にある多様な動画に触れて、動画の世界を堪能しながら基本を学びましょう。

それでは、いよいよ、あなたの動画制作の旅が始まります！

家子史穂

目次

はじめに	3
学習の進め方	6

PART 1

動画制作全体の流れ

1 まず知っておこう! 動画制作の流れ	8
2 動画の企画(動画企画)・シナリオ・コンテとは何か	10
3 動画の撮影はどのように行うか	12
4 動画の編集はどのように行うか	14
5 動画の配信・分析はどのように行うか	16
[コラム] 動画を配信、共有する プラットフォームの特徴と選び方	18

PART 2

動画活用の方向性

1 動画活用の方向性(1) プロモーション、広報、ナーチャリング、採用活動	20
2 動画活用の方向性(2) 自社サービス解説、ライブ配信、社内研修	24
[コラム] 意外と重要? 普段から動画で記録すること	26

PART 3

伝わる動画の3つの要素と事例動画の分析

- 1 伝わる動画の3つの要素 …………… 28
- 2 分析してみよう! プロモーション動画(1) …………… 34
- 3 分析してみよう! プロモーション動画(2) …………… 38
- 4 分析してみよう! 〈広報(啓蒙・啓発)動画〉 …………… 42
- 5 分析してみよう! ナーチャリング
(中長期的な興味関心の持続)(1) …………… 46
- 6 分析してみよう! ナーチャリング
(中長期的な興味関心の持続)(2) …………… 50
- 7 分析してみよう! 採用活動の動画 …………… 54
- 8 分析してみよう! 自社サービス・商品の使い方解説 …………… 58

- [コラム] 自社製品の「使い方動画」はよいことだらけ!? …………… 61

- 9 分析してみよう! ライブ配信 …………… 62
- 10 分析してみよう! 研修用教材 …………… 66
- 11 練習してみよう① …………… 70
- 12 練習してみよう② …………… 73
- 13 練習してみよう③ …………… 76
- 14 練習してみよう①②解答見本 …………… 78

学習の進め方

1 学習計画の目安を立てる

テキストの学習を始める前に、講座全体の学習スケジュールと、それぞれの章 (Part)、レッスンの学習予定日を決めましょう。

2 各単元の学習を行う

事前に立てたスケジュールに沿って、無理のないペースで学習を進めていきましょう。テキスト1は全3章で構成されています。**3章では多数のワーク（「練習してみよう」）を用意しています。**学習した内容の理解度を深めるために、積極的にワークに取り組んでください。テキスト学習が終了したら、提出課題を作成し、提出します。

各単元では、参考とする動画、操作方法を解説する動画などが、数多くあります。**動画はすべてQRコードで閲覧できるようになっているので、本文の解説と併せて、適宜、閲覧、学習しましょう。**

練習してみよう

本文中にあるワーク（「練習してみよう」）は、学習した内容を復習し、理解度をさらに深めることができます。課題（レポート）の作成にもつながる内容なので、ぜひ取り組んでみましょう。

3 課題を提出する (Web提出)

各単元のテキスト学習が終了したら、課題（レポート）に取り組めます。課題は「受講生MyHP」から提出してください。まずはテキストを見ずに取り組んでみましょう。わからない部分については、テキストを読み返しながらか解答を記入してください。すべての設問に解答し終わったら、期日までに提出してください。

■ 受講生MyHP：<https://www.iec-lms.com/ilms/jukos>

PART 1

動画制作全体の流れ



まず知っておこう! 動画制作の流れ

動画の制作を始めるためには、いくつかの準備が必要です。まずは動画制作の全体の流れを把握しておきましょう。





②シナリオ・コンテを作成する

①で考えた動画の企画のシナリオ（構成）を考え、必要に応じてコンテ（台本）を作成します。コンテは絵コンテとも言います。特にチームで動画を作る際は、コンテを作成することで、関係者全員が同じ動画のイメージを共有して撮影や編集にのぞめるようになります。

1) YouTubeチャンネル名
夫婦ふたりの山村暮らし
2) チャンネル概要
主な視聴者

コンセプト

3) テーマと内容

1		-----
2		-----
3		-----
4		-----



①動画の企画を作る

動画制作は、動画の目的や想定視聴者、演出内容など、動画の企画（動画企画）を考えるとところから始まります。YouTubeチャンネルで配信する場合はチャンネル全体のコンセプトを決めましょう。

③撮影する

②で作成したシナリオ、コンテを設計図として、動画を撮影します。撮影を成功させるためには、事前の準備が大切です。どんなシーンをどんな順番で撮影していくか、必要な場所や道具の手配を確認してのぞみましょう。

▶ 動画制作の6つの流れを知る

次の図は、「**動画の企画**」「**シナリオ・コンテ作成**」「**撮影**」「**編集**」「**配信**」「**振り返り・付随業務**」という動画制作の6つの基本の流れを示しています。流れを意識しながら、理解しましょう。

④編集する

撮影した動画を編集します。時間と手間がかかる工程ですが、事前にシナリオ、コンテを作成することで、効率的に進めることができます。

⑤配信する

自社のYouTubeチャンネルやSNSあるいは社内用のイントラネットで動画を配信する場合は、配信作業を行います。YouTubeの場合は動画をアップロードし、動画の表紙となるサムネイル画像を作成したり、動画のタイトルや概要を入力したりします。



⑥振り返り・付随業務

●振り返り

YouTubeで配信した場合、動画に関するさまざまなデータが参照でき、視聴者の属性や検索キーワード、最も見られたシーン、コメントなどから動画の反応を知ることができます。社内で配信した場合も、アンケートやコメントから狙ったメッセージがちゃんと伝わったかを確認して、次回に活かすことができます。

●付随業務

動画に対する問い合わせに回答したり、動画を活用する方法を社内に伝えたり、自分たちで動画制作するためのプロジェクトを立ち上げたりといった「付随業務」が発生することもあります。

動画の企画（動画企画）・シナリオ・コンテとは何か

この節では、動画企画を考える上で最も重要となる「伝わる動画の3つの要素」をはじめ、シナリオ、コンテとは何かについて、順を追って解説します。

🎬 動画企画とは何か

くわしくはテキスト1 Part3

動画企画とは、動画の内容を決めるにあたり不可欠なもので、動画を作っていくうえで常によりどころとなる、設計図です。その中で最も重要になるのが、次の「伝わる動画の3つの要素」です。

「動画の目的（何のために動画を作るのか）・メッセージ」

「誰に届けるか（視聴者）」

「どんな演出にするか（見せ方）」

3つの要素を理解する

意図したメッセージを視聴者にきちんと伝えるためには、この3つの要素が特に重要です。動画企画書内にしっかり書き入れ、関係者で共有することが大切です。

伝わる動画の3つの要素

- 動画の目的とメッセージを決める
- 動画の視聴者は誰か
- 動画のシーンや演出の方法はどうするか

🎬 シナリオとは何か

くわしくはテキスト2 Part2

「シナリオ」とは、「動画の筋書き、あらすじ」であり、その動画のストーリー、物語です。**シナリオが、動画のわかりやすさ、伝える力の決め手となります。**そのため、起承転結のある、視聴者に伝わりやすい構成にすることが大切です。YouTubeなどから見本となる動画を探して、その動画のシナリオを分析してみることも上達の近道です。